

運営・コアメンバー共通規程

本規程は、運営者が実施する各種企画・イベント・プログラム（以下「本企画」）において、運営者およびコアメンバー（運営の中核として計画・意思決定・実行に関与する者）に共通して適用されます。

第1章 総則

1. 目的

本規程は、地域および参加者の尊厳・安全・心理的安全性を確保し、共創活動を健全に運営するため、運営側が遵守すべき行動基準と責任基準を定めるものです。運営者は『支援する立場』であることを自覚し、責任ある意思決定と実行により信頼を形成します。

2. 適用範囲

本規程は、運営者およびコアメンバー（当日運営に従事する者を含む）に適用します。スポット参加者には別途「参加規約（スポット参加者向け）」を適用します。

第2章 基本原則（行動規範）

運営は、次の原則を最優先とします。

- ・参加者の尊厳と安全を最優先（成果や拡大より優先）
- ・透明性（役割・費用・撮影・成果物の扱いを明確化）
- ・公平性（特定の参加者への過度な負担や依存を作らない）
- ・説明責任（不都合な事実も含めて誠実に共有する）
- ・責任感（自らの役割を最後まで遂行し、途中放棄をしない）

第3章 運営者・コアメンバーの責任（共通）

コアメンバーは、次の責任を負います。

- ・説明責任：不都合な事実を含め、状況を誠実に共有する
- ・遂行責任：担当業務を最後まで完遂し、途中放棄しない
- ・予防責任：事故・炎上・迷惑を未然に防ぐ（リスク管理）
- ・連携責任：単独判断で暴走せず、合意形成に従う
- ・記録責任：決定事項・進捗・課題を文書で残す

第4章 入退場・役割遂行（自由入退場の禁止）

- 1) 運営者・コアメンバーは担当期間中、自由に出入りする立場ではなく、事前合意した役割を原則として完遂します。
- 2) やむを得ず離脱・交代が必要な場合は、事前連絡・引継書作成・代替確保（または縮小/中止提案）を必須とします。
- 3) 当日運営中の無断離脱、連絡不能、業務放棄は重大な規律違反とします。

第5章 対価・報酬の考え方（経験＝報酬）

- 1) 本企画における基本的な対価は、学習機会・経験・ネットワーク・実績（非金銭価値）とします。
- 2) 金銭的報酬の支払いは当然の前提としません。

3) ただし、業務性の高い役割（継続的な成果責任を伴う業務委託等）については、別途条件を定める場合があります。

第6章 Plan/Report/Consult/Do（運営品質の中核）

【Plan（計画責任）】

- 1) 主要事項（目的、対象、人数、役割分担、費用、撮影、危険要素、地域合意等）を事前に整理します。
- 2) 実行前に、必要な承認・合意（運営内、地域、関係者）を得ます。
- 3) 計画は『誰が・いつまでに・何を・どうやって』を明確にし、曖昧なまま進めません。

【Report（報告責任）】

- 1) 担当範囲の進捗・課題・次アクションを定期報告します（例：週次/企画前後）。
- 2) 遅延・変更・問題発生の兆候は、判明次第すみやかに報告します。
- 3) 報告は結論先出しで『事実/影響/対策案』の形式を基本とします。

【Consult（相談責任）】

- 1) 安全、地域クレーム、費用負担、契約、外部への公表・広報、方針転換、規模拡大、中止・延期は独断で決めず相談します。
- 2) 相談は『結論案+代替案+リスク』を添えて提案することを原則とします。

【Do（実行責任）】

- 1) 取り決めた役割を誠実に遂行し、連絡不能・無断離脱・業務放棄を行いません。
- 2) 当日は、安全・秩序・地域配慮を優先します。
- 3)トラブル時は、事実確認→被害拡大防止→運営内連携の順で対応します。

第7章 ハラスメント・差別・安全

- 1) ハラスメント（威圧、人格攻撃、性的言動、執拗な勧誘、差別等）を一切許容しません。
- 2) 飲酒を伴う場では、参加者への強要・圧力・不適切言動を厳禁とします。
- 3) 危険行為、無断侵入、設備破損等が疑われる場合、運営は直ちに是正し、必要に応じて退出要請を行います。

第8章 写真・動画・広報（同意の徹底）

- 1) 撮影・記録の目的と利用範囲（SNS、Web、報告書等）を事前に説明します。
- 2) 顔出し可否・掲載可否は参加者が選択できます。拒否・限定は尊重し、不利益はありません。
- 3) 公開前に確認が必要な素材は、本人確認を経て掲載します。

第9章 苦情対応・是正（成熟の担保）

苦情・相談・不安の申立てがあった場合、運営は防衛的にならず、迅速に事実確認と是正を行います。申立てを理由とする不利益取扱い（排除、冷遇、機会制限）は禁止します。再発防止策は必要に応じて文書化し共有します。

第10章 改定

運営は、本規程を継続的に見直し、透明性・安全性・公平性を高めるために改定することがあります（重要な変更は事前に告知します）。

以上